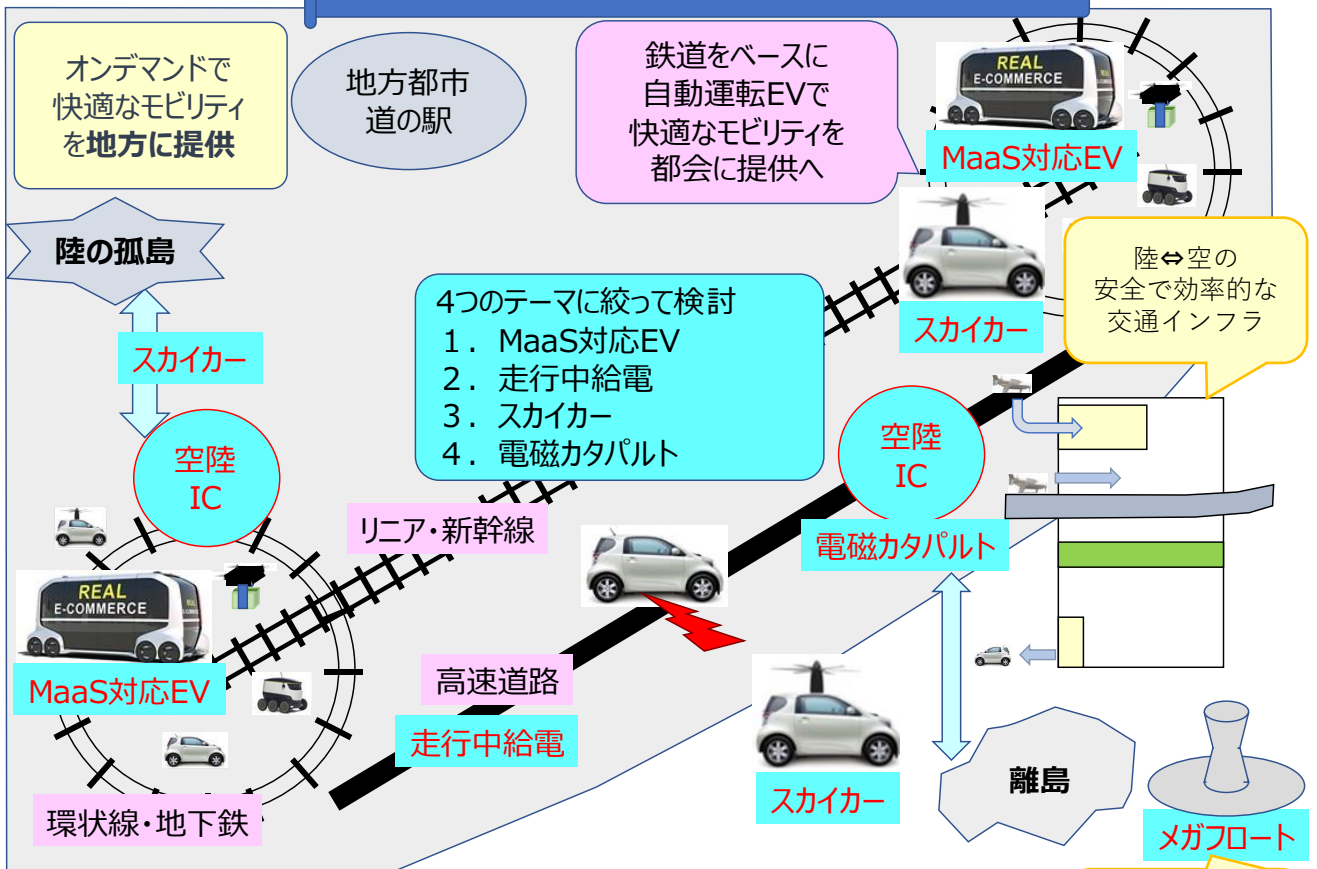


# 戦略WGモビリティSWG活動紹介：モビリティビジョン

都市より地方に重点を置いた施策としたい



すべての人に快適なモビリティを提供

災害時ヘッドクォータとして利用(電源・宿泊)

## 1. MaaS対応EV：自動運転

2020年：自動運転レベル3  
2020年代：自動運転レベル5  
2030年：自動運転EVが普及  
\* コロナでシェア化が遅れる

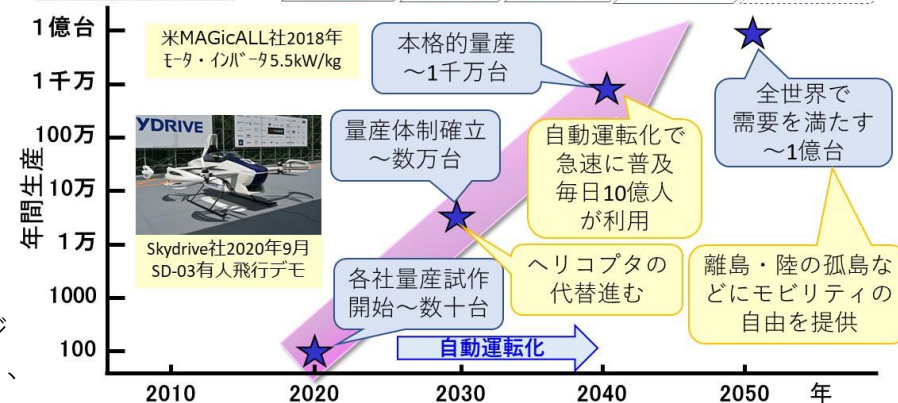
## 2. 走行中給電

2015年：大型トラック接触給電  
2018年：駐車時非接触給電  
2030年代：走行中非接触給電  
\* 太陽光発電の増加により、昼間の充電を増やす方向へ

## 4. 電磁カタパルト

2030年：空港での実用化  
2050年：空陸インターチェンジ  
\* 旅客機の省エネニーズにより、まず空港で実用化

## 3. スカイカー：eVTOL



2020年代がモビリティの大変革の転換期となる